

地区名 由利本荘市・にかほ市

所在地 由利本荘市川西

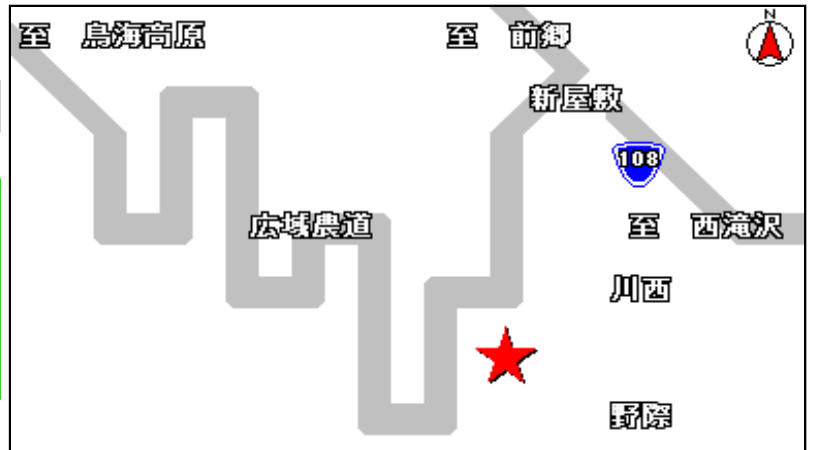
バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

由利本荘市由利町新屋敷から広域農道に入った(鳥海高原に向かう)ところが観察場所。

安全上の留意点



道路端であることに加えて、ある程度のやぶを越えていく必要があるのですがや交通事故には十分注意させる。露頭が狭いので、岩石などの採取は代表者が指導者同伴の上で行うとよい。

観察のポイント

- ①厚く泥の層が堆積していること。
- ②粒が細かな泥岩の手触りを感じる。
- ③角ばった火山岩がないこと。
- ④大きな地層の広がりを感じる。

地質年代

新第三紀中新世後期(5~600万年前)

解説

船川層と見られ、比較的柔らかい泥岩の層が見られる。泥岩を割ってみると貝の化石らしきものがでてくることがあり、厚く泥の層が堆積していることと合わせて「水のはたらき」でできた大地だと判断できる。また、露頭上部に色の違う層(白っぽい)が入っているのだが、他地域の船川層の調査と、実際に洗浄して観察した結果から火山灰の層ではないかと考えている。

(筆者独自調査)

露頭概観

指導形式

B



露頭の上部に白っぽい層が挟まっており、右に傾斜している。大地が大きな力を受けて曲がったことを考えさせる材料となる。



泥岩は柔らかく、手で簡単に割ることができる。中に化石らしきものを見つけたことができたが、詳しいことは分からない。



白っぽい層を手にとってみたところ。手触りは周りの泥岩と異なる。洗浄して観察した結果から、火山灰の層ではないかと考えている。